

## 住環境改善のための対策は

**問** 佐屋地区では、農業集落排水事業が西保地区で始まり、平成16年には厚労省助成による「コミュニティプラント」事業が竣工した。そして、現在は、国交省助成による公共下水道事業が、各地区で施行されている。

市全体計画の内、何%の工事が完了し、平成44年度の完了計画は変わっていないか。

国・県・市の助成を受けて設置しても、下水道本管に市民の接続がなければ目的は達成されない。公共下水道の接続率をうかがう。

**上下水道部長** 市全体計画の内、約30%完了している。事業完了予定は計画通り、平成44年度である。公共下水道の接続率は、供用開始区域で佐屋地区62%、佐織地区53.5%。

**問** 本市の接続率は他市町と比べて劣っていると聞いているが、今後はどのような方策で接続率を上げるのか。蟹江町の接続率が良い。蟹江町長からは「整備地区に当たるところは、一度、二度ならず、三度も四度も一軒一軒職員に接続の説得に行かせた」と聞いている。協力を仰ぐ方法として、



石崎たか子議員

市広報への掲載やチラシだけでは駄目だと思いが。

**上下水道部長** 地元事業説明会でわかりやすく、丁寧な説明に努め、参考にすべきは検討して行く。

愛西市農集排等接続率		平成26年度末現在		
		総口数	接続件数	率
八開地区	鵜多須地区	211	203	96.2%
	赤目地区	142	137	96.5%
	東川地区	145	132	91.0%
	八開中部地区	181	158	87.3%
	二子地区	299	257	86.0%
	八開北部地区	150	114	76.0%
	八開南部地区	195	153	78.5%
	地区計	1,323	1,154	87.2%
立田地区	山路地区	271	258	95.2%
	福原地区	57	57	100.0%
	西輪戸地区	230	213	92.6%
	小茂井地区	210	199	94.8%
	四会地区	186	142	76.3%
	森川地区	257	214	83.3%
	鶴戸東八反割地区	263	208	79.1%
	早尾地区	430	344	80.0%
立田地区	158	126	79.7%	
地区計	2,062	1,761	85.4%	
佐屋地区	西保地区	1001	991	99.0%
	本部田・東條地区	389	357	91.8%
	佐屋中央地区	509	440	86.4%
	永和台地区	746	746	100.0%
	地区計	2,645	2,534	95.5%

  

愛西市公共下水道接続率		平成26年度末現在		
	総口数	接続件数	率	
佐織地区	1964	1051	53.5%	
佐屋地区	2153	1334	62.0%	

▲市内の汚水処理接続率

## 市民のごみ排出の徹底を

**問** ごみ収集日以外に粗大ごみや家庭ごみまで、ゴミステーションや集会所前に置かれている。一般ごみの中には、雑誌やリサイクルに回せるものが多々ある。行政との協働のために住民に示唆するものがあればお話を。

**市長** 公共下水の件もごみの件もだが、市民のより良い環境のために、現在計画的に事業を進めている。そのためには、市民始め、関係各位のご理解協力がなければ進まない。ぜひ、市のために協力頂きたい。

思うような市政では、少子化に歯止めはかからない。産み、育てる、切れ目のない施策を行っていくことで、持続可能な行政運営が行われる。地域創生の財源による子ども医療費助成の拡大を行うことを求める。

**市長** 市の収入は、交付税など依存財源に頼っている状況である。短期的な地方創生の交付金による子ども医療費助成の拡大は難しい。

**問** さまざまな子育て支援策を削減する日永市政に対して、「若い子育てをしている日永市長だから子育ての苦労は分かってくれると思っていたが残念」という声がある。その声にも応え、市をアピールすることもできる子ども医療費助成の拡大を求める。

**市長** 持続可能な行政運営を行っていくためにも、事業の検証を行っていかねばならない。昨年の議会において、子ども医療費助成の拡大について、議会として、否決していることも考慮して、施策を進めていく。

